

司会：ウイークディ交歓会で顔見知りが出来ると、今度はそっちに入れてと云えるのですが、最初のうちどうですか？ 顔見知りが無いと。

WE：全然無かったんですけど、すぐにお相手して頂けたのであまり苦にはならなかったです。

司会：そうですね、むしろあんまり遠慮しないで、「やりましょう」と云われたら直ぐに入ってしまった方が いいですね。

MB：女性の方が多いので、女性のかたから「やりましょう」と声を掛けてもらった方が、知らない人でも「あ、そうか」と入りやすいですね。

WB：こちらの方もおんなじなんですかね。

WA：若い上手な人は良いけど、私たちはやって頂けるかな？ と思うのでやはりいつも同じ人とやってしまうのよね。

WD：壮年もかたまるようになったら、やはり年寄りには行けなくなる。

MC：女性の心理は良く分からないのですが、男性のほうは朝から晩迄、なにしろ休暇とって行くもんですから。弁当持って。

MD：高橋先生が会報に技術的なことを書いておられ、コート1面を使って練習をやられたこともあるんですが、あ、云うのはどうですかね？

MB：僕もそれを提案したことがあるんですよ。4面あったら1面を開放して、上手な人に30分交代くらいで指導をしてもらうと大変有り難いですね。

司会：何人かで、こう打ちなさい、あ、打ちなさいと指導するのは難しいですね。と云うのは教える人によって云うことが違ってくることがあるんじゃないかと思えますよ。だから、ヒッティングパートナー的な事とか、ボレーの練習をしたいと云う時に、ボレーをし易い所に球を出す事は出来ても、ボレーはこう打ちなさいと指導するのは難しいですね。ゲームではなく打つ相手をしてあげると云う事になると思えますね。

WD：1日中でなくても1時間位でも、何時から何時迄はそれをしますと云うことでも良いですね。

MC：コートの数が6面位あると良いのですが。

WF：人数が多くなった時はコートは増やしているんです。

WB：壮年テニスはスクールと云う感じでは無いので、私はクラブのクリニックの時練習をし、

壮年の時はいろいろな人と試合を楽しみたいと思っているので。いろいろですね。

司会：会費の800円と云うのはどうですか？

WD：1年間でドサッと納めるよりは良いのではないですか？

司会：人数がたくさん集まればもっと安く出来るんでしょうね。何人位参加するか分からないから、なにしろコート代は確保しなければならぬし、800円と云うことになってしまふんだと思いますよ。

MD：参加者を増やすにはどうしたら良いでしょうね？

WD：他の練習会とぶつかって出られないこともあるので、いろいろな曜日にもしてもらおうと良いですね。月曜は良いが水曜、木曜は行けないと云うこともあるんです。

MB：宮城野原でのウイークディ交歓会を年間を通してもっと増やせばトータルの参加者は増える感じがしますかね。

WA：何年前かに月に2度位やったことがあったですが、その時の出席はどうだったですかね？

WG：ウイークディに参加するのに有給をとってと云う方が結構いらっしゃるようですね。

MC：そうです。私は必ずそうです。ですからウイークディの時は家内に迷惑を掛けぬよう、朝6時半に起きて準備し、弁当もちゃんと用意して。

MB：小学校の遠足みたいに夜中に起きて、あ、星空だ、大丈夫だと。

WD：それだけ楽しみなんですね。

司会：最近新しい人達が随分来ていますね。それだけいろいろな方々と出来るので楽しいですね。

いろいろ話が出ましたけれど、たいは時間経っているし、あとは雑談と云うことで。どうも有り難うございました。



◆壮年テニス連盟10周年記念大会に参加して◆

千葉 鴻二

8月20日、今日泉のテニスコートで、壮年テニス連盟の記念すべき大会が行われる。

10年といえば、1つの区切りで、時間の感じ方で、「あっという間」という人と、「長かった」という人もあるだろう。一つの組織が創立され運営され、軌道にのせるということは大変なことである。その間、テニスへの情熱をもつ多くの人々が考えを出し合い、試行錯誤しながら推進して来たことだろうと思う。そのことを思うと連盟を盛り上げてきた役員の方々に深く感謝をしたい。

今日は晴れ、一寸蒸し暑いがテニス日和だ。われわれテニスマンにとっては最良のコンディションだ。会場には男女合わせて約120名の会員が集まっている。非常に賑やかである。テニスを楽しむ同好の志で朝の挨拶も明るい。受付でもらった実施要項を見ると、全体が6チームに分けられ、それぞれ個人の名前が記載されている。そのチームが6つの色に分けられている。即ち、赤、青、黄、緑、空、桃色である。試合は団体戦で男子ダブルス、女子ダブルス、混合ダブルス2、フリーダブルス4の4つのダブルス戦になっている。さらに6ゲーム先取（ノーアドバンテージ）で順位は取得ゲーム数の総和によって決まる。なかなか面白い企画で、参加者全員が楽しめるようになっている。各チームのキャプテンはすでに色分けの鉢巻きを配っている。

9時になり開会式。先ず山本委員長の挨拶、晴れ晴れしい挨拶である。川口競技委員の競技方法についての諸注意、準備体操そして記念撮影、和気あいあいである。

競技開始。各チーム、各コートに分れ、試合前の挨拶とメンバーの紹介。試合開始。ゲームが始まるまで誰と組むのか、相手方は誰なのか皆目判らない、そして取得ゲーム差なのでその差を考えて戦えば良い。そこが面白い。お互いあまり交際のない人でもパートナー同志共にゲームをすることによって、親しみが湧いてくる。午前、午後と各チーム熱戦が繰り広げられる。そして、3時頃には勝敗の結果が判ってくる。結局、優勝は青色チームでした。おめでとう、よく頑張りました。

閉会。参加者全員がテニスをした満足感が顔に出ています。各チームとも、賞品とも参加賞ともとれる大

きな袋が渡される。それからが大変。各チーム、ジャンケンによって賞品が分けられる。敵は味方の中にいる。ジャンケンも強くならなければならない。今日の10周年記念大会は盛大で楽しく無事終了し、帰りは皆テニスをした満足感で晴れ晴れとしている。年をとると創立10周年の記念大会に参加したことには意義がある。20周年記念大会の時、出場出来るかどうかは今考えないことにする。

◆第10回東北ベテランテニス選手権大会に参加して◆

鈴木 昭悟

兄弟3人が、山形県天童市で行われるベテラン選手権大会に泊まりがけで参加することになった。戦前戦後の物の無い時代にも家族でテニスを楽しんでいたの、何十年も前の時代に戻ったようで年齢を忘れ、若やいだ気分になる。そのせいか、仙山線に乗る時刻を間違えて電車を乗り換えるというハプニングさえおきる始末だ。車中もテニス談義と家族（兄弟姉妹）のことなどで会話が次から次と出てくる。車中の時間が短く感じられる。県境のトンネルを通過し、山形県に入る。蒸し暑い仙台とは異なる山寺で下車し、タクシーに乗り換える。約20分で天童市の旅館に着く。コートでのテニスの練習も出来ないので温泉に入ってゆっくりする。ここの温泉は明治以後、偶然に掘り当てられたそうで、そう古くはない。天童に来るといつも芭蕉を思い出す。約300年前の元禄2年7月の暑い夏の日、尾花沢から紅花の咲く道を天童を通り山寺へと急ぎ、あの有名な「閑かさや 岩にしみいる・・・」の句ができたのであろう。夕飯は夕飯で楽しい。ビールを飲みながら話が弾む。鮎とオコゼが焼き魚として出てきたが、グロテスクなオコゼに関連して、マタギと嫉妬深い山の神の話が、民俗学をやっている兄貴から出る。その後、明日の試合に備えて布団に入ったが天候は不順で、日中晴れていたが夜半は雨、そして雷。蒸し暑くて寝苦しい。

朝5時頃、目が覚め、天気は気懸りで窓を開けて外をみる。雨は止み、道路は洗われて宿泊客の朝の散歩の下駄の音が快い。坂の上の方の形の良い舞鶴山（中世、天童氏の居城跡）にかかっていた雲も上へ上へと昇り、天候の回復を思わせる。今日のテニスコートは蒸し暑くて大変だぞと思う。朝食後10時ごろ、宿の主人の車で県営総合運動公園へ送られる。広大な土地と立派

な施設に改めて感心する。テニスコートに着く。もうすでに各種の試合が行われている。

大会は8月5日(土)~9日(水)の5日間で、種目は5歳区切りで、男子は35歳~の単、45歳~、50歳~、55歳~、60歳~の単複、65歳~複、女子は40歳~、45歳~、50歳~、55歳~の単複と60歳~の複である。選手は男子が延べ約100名位、女子が延べ約80名位参加している。この大会の優勝者が全日本へ出場できることになっている。仙台の知っている人達に会い挨拶を交わす。また、宮城の人達を応援したり、その試合を観戦したりする。

いよいよ時間が来て、65歳以上のダブルスの試合に兄と出場する。相手は昨年の優勝の関東勢で、しかも第一シードになっている。ゲームが始まる。相手は非常に試合慣れをしている。要所要所にボールを打ってくる。コントロールが良い。そして無理をしない。ジリジリと圧迫される。結局実力の差で敗れる。完敗である。改めてテニスの深さを感じさせられる。その後、仙台の人達の試合を観戦し昼過ぎに山形駅まで送ってもらい、仙山線で七夕で賑わう仙台に帰る。

この大会で感じたことは、レベルの高さと共に関東勢の多いことで、男女ともに全体の約25%を占めているし、東北6県の一つの県よりも多く出ている。関東勢が東北に進出してくることは、東北が甘く見られているような感じを持ったが、僥みであるだろうか。

★第5回東北シルバー大会(9/7)に参加して★

坂爪 ミヤ

早朝、高速バスで、今回の開催地青森へ。岩木山が大きく見える頃リング追分のメロディーに、ついつられて♪りんごの花びらが♪と口ずさみながら宿へ、疲れを知らないシルバー達は、バスで窮屈だった足腰をテニスでほぐすなどと早速コートへ、楽しみながらのテニス、その内雲行きあやしく、お風呂から上がった頃には、雨になり明日の天気気がなる。

翌朝、心配していた天気も爽やかに晴れ上がり、行く道はリング並木、岩木山の麓、16面のコートが広がり、素晴らしい環境の中で試合開始、エッ・・・本当にシルバーの大会なの?と思うほど軽やかにボールを追う姿・・・かと思うと相手がボールを拾いにいっている間にどっしりとコートにあぐらをかいて一休み、ああ、やっぱりシルバー大会なのだ納得。

夕食の後、女監督の部屋に女性一同集まり、明日の

作戦会議なのか今日の反省会なのか、賑やかな言葉に言い尽せず、広報委員の隠しマイクがそっと置かれていたので、いつかどこかで暴露されるかも。でも今は言わぬが花としておきます。

さて、結果は男性の活躍でかろうじて4点差で栄光は宮城の手に、優勝杯と副賞に赤いリングを一箱頂き、帰路につきました。

青森の役員さんお世話になりありがとうございました。宮城の皆さんご苦勞様でした。また明日に向かって頑張りましょう。

★対いわきVTC親善試合に参加して★

梅崎 千枝子

秋晴れの9月30日、石垣さんといっしょに小野さんの車に乗せていただき、9時30分仙台を出発、小野さんの安全運転に身を任せ、国道6号線を走ること2時間半、ちょうどお昼に太平洋岸に面した福島県双葉郡富岡町総合スポーツセンターに到着しました。昼食を済ませ、午後から3時間ほど自由練習をしました。

夕方6時から夕食を混じえての懇親会、飲むほどに、酔うほどに歌や踊りが披露され、中でも伊藤さんの安来節は本当にお見事でした。自慢じゃないけど、飲めない、歌えない、踊れないの三拍子揃った私、でも宴会大好きです。芸達者の皆さん、これからも楽しませて下さいね。

そして2日目の10月1日、今日はテニスの親善試合、9時開会式のあと試合開始、午前は男子ダブルス戦、女子ダブルス戦、午後はいわきの男性と宮城の女性ペア対宮城の男性といわきの女性ペアでのお楽しみが変わり、私はいわきの安部会長さんとペアになりとても楽しい思い出が出来ました。

今回宮城の参加者は男性10名、女性14名合計24名でした。なんとその内の半数がご夫婦(7組)、微笑ましいこと。対戦成績は、7勝12敗、次回頑張りましょう。

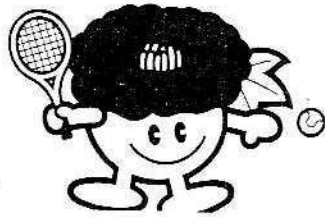
宴会の席で参加者全員が一言ご挨拶がありました。私のように始めて参加された方は皆同じようなことをおっしゃいました。「こんな楽しい交流会にもっと早く参加していれば良かった・・・」と。

来年は宮城がいわきの方をお迎えする番。今から楽しみです。皆さんもどうぞ。

■ねんりんピック95 仙台市チーム金メダル獲得■

今年度のねんりんピックは神話の里島根県で開催されましたが当連盟の会員からなる宮城県チームおよび仙台市チームが参加、健闘なさいました。特に仙台市チームは4位グループながら待望の金メダルを獲得されました。各チームの監督さんよりのご報告を紹介いたします。

ほたんちゃん



仙台市チーム監督 新藤 英雄

「ひろげよう 神話の里から 長寿の輪」を大会テーマとして10月20日から24日まで行われた。テニス交流大会は、島根県立浜山公園テニスコートで22日に16ブロック別予選リーグ戦、23日に決勝トーナメント戦が行われ仙台市チームは、次のようなメンバーで参加した。

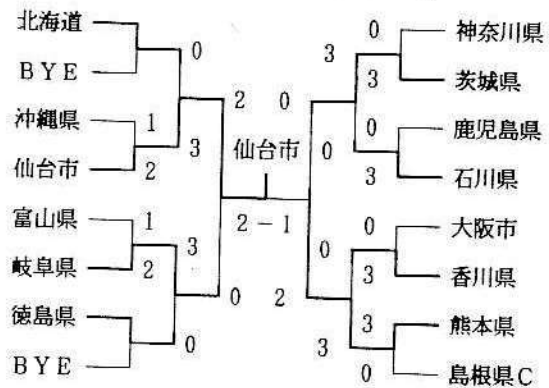
監督 新藤英雄、選手 男子65歳以上 久保寿一、小野泰祐、男子60歳以上 本間満雄、村上実、女子60歳以上 坂爪ミヤ、高橋明子

22日の予選リーグ戦は、4ゲーム先取（ノーアド）の波に乗り切れず、次のような不本意な成績で終り、23日の4位グループトーナメント戦に臨むことになった。

	静岡県	愛媛県	仙台市	滋賀県	勝敗	順位
静岡県		3-0	2-1	2-1	3-0	1
愛媛県	0-3		2-1	1-2	1-2	3
仙台市	1-2	1-2		1-2	0-3	4
滋賀県	1-2	2-1	2-1		2-1	2

23日の決勝トーナメント戦は、4位グループ16チームの頂点を目指してそれぞれが必死の攻防を繰り広げた。仙台市チームは終始冷静によく健闘し、ついに決勝で熊本県を5-7, 7-5, 7-5で下して優勝し、表彰式時金メダルを授与された。試合の結果は次の通です。

4位グループ決勝トーナメント戦



宮城県テニスチーム監督 加藤 文二

第8回全国健康福祉祭島根大会（ねんりんピックしまね）は、10月21日～23日までの3日間島根県下15市町村で20種目の競技が「ひろげよう神話の里から長寿の輪」のテーマにより開催されました。昨年は残念でしたが選手が揃わず出場出来なかったと聞いておりましたが、今回は関係者の方々のご援助により、女子選手については仙台市より格別のご協力をいただいて出場することが出来ました。

初日の21日は松江市宮陸上競技場にて、常陸宮殿下、同妃殿下のご臨席のうえ、NHKの福島幸雄、今泉純子総合司会者により総合開会式が行われ、我々選手団も第8番目に入場し、11時より14時10分の3時間10分の開会式に参加する。演出等は神話によるものでなかなかの見せ場を作っていて感銘を受けました。第2日からは交流大会で山梨県は不参加、山形県は急遽出場取り消して島根県よりA, B, Cと出場したのであるが、60チームの組み合わせで59チームの対戦となる。宮城県は14ブロックの第14コートで兵庫県と対戦するも、0-3で負け、第2戦も山口県と対戦し、0-3で負ける。最終戦は富山県と対戦し、1-2で1勝をあげることが出来た。翌日の決勝トーナメント第3位グループに入り、福岡県と対戦するも0-3で負け、今までの記録更新は出来なかった。相手が試合巧者としか言いようがない、良い経験になったゲームだった。

最後になりましたが、石巻市の鈴木東行さんが急病のため参加することが出来ず、新記録が作れず残念でした。県から伊藤和彦係長さんが付き添って頂き何かとお世話下さいましてありがとうございました。選手は65歳以上加藤、鈴木昭吾、女子は奥井紀美子、庄司勝子、60歳以上米竹祐一郎、角田満でした。

★ 壮年テニス連盟10年の記録 その1 ★

◆ 歴代役員

昭和61年度

委員長 神吉寛一
 副委員長 上山 弘 (会報担当)
 運営委員 青木興一 (行事担当)
 中村克宏 (行事担当)
 藤崎春雄 (会報担当)
 山本 忠 (庶務・会計担当)
 幹 事 下山 修 (行事担当)
 高橋龍夫 (庶務・会計担当)
 山内 宏 (行事担当)

昭和62年度

委員長 神吉寛一
 副委員長 上山 弘 (総務担当)
 運営委員 青木興一 (競技会担当主任)
 川口温弘 (競技会担当)
 久保寿一 (総務担当)
 新藤英雄 (競技会担当)
 中村克宏 (競技会担当)
 藤崎春雄 (総務担当)
 山本 忠 (会計担当)
 幹 事 高橋龍夫 (庶務・会計担当)
 山内 宏 (会計担当)

昭和63年度

委員長 神吉寛一
 副委員長 上山 弘 (会計担当主任)
 運営委員 川口温弘 (競技担当主任・会計)
 井沢三幸 (競技・広報担当)
 伊藤一利 (競技・会計担当)
 菅野志津子 (競技・会計担当)
 新藤英雄 (庶務担当主任)
 中村克宏 (競技・広報・庶務担当)
 矢田慶治 (広報主任・庶務担当)
 幹 事 高橋龍夫
 山内 宏
 大賀延行

平成元年度

委員長 村上和夫
 副委員長 新藤英雄 (広報主任・競技・庶務)
 運営委員 井沢三幸 (競技・庶務担当)
 伊藤一利 (会計主任・競技担当)
 小野泰祐 (競技・庶務担当)
 川口温弘 (競技主任・会計・広報)
 菅野志津子 (競技・会計担当)
 瀬野尾 秩 (競技・会計担当)
 松山真水 (競技・広報担当)
 矢田慶治 (庶務・広報担当)
 幹 事 大賀延行 (競技担当)
 高橋龍夫 (庶務・会計・競技担当)
 山内 宏 (競技担当)

平成2年度

委員長 村上和夫
 副委員長 伊藤一利 (会計主任・競技担当)
 瀬野尾 秩 (競技主任)
 運営委員 小野泰祐 (競技・庶務担当)
 菅野義治 (庶務主任・競技担当)
 酒井倭子 (広報・競技担当)
 首藤紀子 (広報・競技担当)
 庄司則克 (会計・競技担当)
 松山真水 (会計・競技担当)
 矢田慶治 (広報主任・競技担当)
 幹 事 大賀延行 (競技担当)
 高橋龍夫 (庶務・会計・広報担当)
 山内 宏 (競技担当)

平成3年度

委員長 村上和夫
 副委員長 瀬野尾 秩 (競技担当)
 運営委員 井沢秀雄 (競技主任)
 小野泰祐 (競技・庶務担当)
 菅野義治 (庶務主任・競技担当)
 酒井倭子 (広報・競技担当)
 庄司則克 (会計・競技担当)
 松山真水 (会計主任・競技担当)
 幹 事 大賀延行 (競技担当)
 高橋龍夫 (庶務・会計・広報担当)
 山内 宏 (競技担当)

平成4年度

委員長 新藤英雄
 副委員長 菅野義治
 運営委員 井沢秀雄 (競技主任)
 高橋重郎 (庶務主任・競技担当)
 庄司則克 (会計主任・競技担当)
 酒井倭子 (広報主任・競技担当)
 首藤紀子 (広報・競技担当)
 本間満雄 (会計・競技担当)
 福山昌利 (広報・競技担当)
 渋谷妙子 (庶務・競技担当)
 幹事 大賀延行 (競技担当)
 高橋龍夫 (庶務・会計・担当)

平成5年度

委員長 新藤英雄
 副委員長 本間満雄
 運営委員 井沢秀雄 (競技主任)
 高橋重郎 (庶務主任・競技担当)
 武田満雄 (会計主任・競技担当)
 和田武士 (広報主任・競技担当)
 渋谷妙子 (広報・競技担当)
 福山昌利→本野日出子 (会計・競技担当)
 玉置雪枝 (庶務・競技担当)
 坂爪みや (コート担当)
 幹事 大賀延行 (競技担当)
 高橋龍夫 (庶務・会計・担当)

平成6年度

委員長 山本 忠
 副委員長 本間満雄
 運営委員 和田武士→川口温弘 (競技主任)
 玉置雪枝 (庶務主任・競技担当)
 坂爪みや (会計主任・競技担当)
 渋谷妙子 (広報主任・競技担当)
 高橋重郎 (会計・競技担当)
 武田満雄 (庶務・競技担当)
 本野日出子 (庶務・競技担当)
 千葉鴻二 (広報・競技担当)
 幹事 大賀延行 (競技担当)
 高橋龍夫 (庶務・会計・担当)
 伊藤一利 (シルバー関係担当)

平成7年度

委員長 山本 忠
 副委員長 中村克宏
 運営委員 川口温弘 (競技担当)
 和田美代子 (競技担当)
 玉置雪枝 (庶務担当)
 菅野志津子 (庶務担当)
 武田満雄 (庶務担当)
 千葉鴻二 (広報担当)
 日野佑子 (広報担当)
 高橋明子 (広報担当)
 坂爪みや (会計担当)
 幹事 伊藤一利
 大賀延行
 高橋龍夫

◆ 会員数

昭和61年 4月	連盟結成大会出席者 約60名
昭和61年12月	192名
昭和62年 7月	201名
昭和63年 7月	246名 (男子166名 女子80名 家族 52組)
平成元年 3月	233名 (男子157名 女子76名 家族 49組)
平成 2年 4月	276名 (男子174名 女子102名 家族 57組)
平成 3年 3月	317名 (男子188名 女子129名 家族 65組)
平成 4年 3月	344名 (男子200名 女子144名 家族 66組)
平成 5年 3月	331名 (男子194名 女子137名 家族 64組)
平成 6年 3月	344名 (男子191名 女子153名 家族 66組)
平成 7年11月	370名 (男子189名 女子181名 家族 75組)

★ 壮年テニス連盟10年の記録 その2 ★

◆ 年令別ダブルス大会優勝者記録

第1回 (61.10.26 於青葉山)	
女子40才以上	菅野志津子・市川文子
女子45才以上	坂爪みや・岡崎幸子
男子45才以上	松尾正親・中辻吉郎
男子50才以上	山内 宏・石亀希男
男子55才以上	庄子 弘・山本 忠
男子65才以上	花淵武雄・瀬野尾 秩
第2回 (62.6.21 於青葉山)	
女子40才以上	酒井倭子・松阪真砂子
女子45才以上	井沢三幸・石川トヨ子
男子45才以上	長田輝夫・渡辺貞夫
男子50才以上	嶋田 鼎・中村克宏
男子60才以上	新藤英雄・武田満雄
男子65才以上	不成立
第3回 (63.5.22 於青葉山)	
女子40才以上	武田孝子・八尾圭子
女子45才以上	玉置雪枝・渋谷陽子
女子50才以上	石川トヨ子・北畠とよ
男子45才以上	大賀延行・長田輝夫
男子50才以上	渡辺博茂・五島健男
男子55才以上	多久堯夫・守田 忠
男子65才以上	久保寿一・室賀 創
第4回 (元.6.11 於泉コート)	
女子40才以上	小田島美代子・松阪真砂子
女子45才以上	渋谷陽子・酒井倭子
女子50才以上	石川トヨ子・北畠さと
男子45才以上	長田輝夫・渡辺貞夫
男子50才以上	遠藤一博・斎藤昭男
男子55才以上	不成立
男子60才以上	室賀 創・ムラカベ・S
男子65才以上	新藤英雄・武田満雄
第5回 (2.6.11 於泉コート)	
女子40才以上	和田美代子・布留川三枝子
女子45才以上	渋谷陽子・松阪真砂子
女子50才以上	井沢三幸・菅野志津子
女子60才以上	菊田絢子・庄司勝子
男子45才以上	中島 佑・小野寺嘉郎
男子50才以上	今 晴雄・松山真水
男子55才以上	不成立
男子60才以上	村上和夫・小関精吾
男子65才以上	久保寿一・室賀 創

第6回 (3.5.6 於泉コート)

女子40才以上	酒井倭子・渋谷陽子
女子45才以上	首藤紀子・玉置雪枝
女子50才以上	菅野志津子・坂爪みや
女子60才以上	菊田絢子・庄司勝子
男子45才以上	大賀延行・中島 佑
男子50才以上	安田 勇・池田 稔
男子55才以上	福山昌利・北畠 宏
男子60才以上	久保寿一・室賀 創
男子65才以上	瀬野尾 秩・武田満雄

第7回 (4.7.12 於泉コート)

女子40才以上	橋本真紀子・山村紀美子
女子45才以上	酒井倭子・首藤紀子
女子50才以上	渋谷陽子・玉置雪枝
女子60才以上	奥井紀美子・庄司勝子
男子45才以上	岩月矩之・佐藤克己
男子50才以上	五島健雄・小野寺嘉郎
男子55才以上	福山昌利・浅野隆雄
男子60才以上	川上秀之・松本朝光
男子65才以上	小野泰祐・室賀 創
男子70才以上	上山 弘・武田満雄

第8回 (5.5.23 於泉コート)

女子40才以上	玉置雪枝・増田誓子
女子45才以上	剣持啓子・安藤伸子
女子50才以上	渋谷妙子・井沢三幸
女子60才以上	櫻井ノリエ・庄司勝子
男子45才以上	矢田吉明・織田和雄
男子50才以上	井沢秀雄・柴田賢蔵
男子55才以上	中村克宏・神松伊三郎
男子60才以上	本間満雄・山本 忠
男子65才以上	武田満雄・小野泰祐
男子70才以上	久保寿一・室賀 創

第9回 (6.7.19 於泉コート)

女子40才以上	大沢澄枝・和田美代子
女子45才以上	有賀昌子・剣持啓子
女子50才以上	南谷綾乃・相原阿城子
女子60才以上	今野ミチ・庄司勝子
男子45才以上	井沢秀雄・柴田賢蔵
男子50才以上	相原 稔・小川和夫
男子55才以上	有賀吟生・松山真水
男子60才以上	高橋重郎・山根一郎
男子65才以上	久保寿一・小野泰祐
男子70才以上	武田満雄・室賀 創

第10回 (7.5.27 於泉コート)

女子40才以上 長沢光子・太郎丸幸子
 女子45才以上 南谷綾乃・相原阿城子
 女子50才以上 酒井倭子・渋谷陽子
 女子60才以上 石垣晴子・平井郁子
 男子45才以上 和田武士・長沢 仁
 男子50才以上 松山真水・柴田賢蔵
 男子55才以上 神松伊三郎・落合定雄
 男子60才以上 不成立
 男子65才以上 多久堯夫・岡田克巳
 男子70才以上 丸山 潔・伊藤一利

第8回 (6.10.11 於泉コート)

Aクラス 中村克宏・矢野伸二
 Bクラス 三浦 翼・三浦美智子
 Cクラス 大衛 壮・高橋宏郎
 Dクラス 八重樫トモ・斎藤郁子

第9回 (7.10.21 於泉コート)

Aクラス 長田輝夫・有賀吟生
 Bクラス 五島健雄・三瓶 章
 Cクラス 田中 稔・高橋捷夫
 Dクラス 置田輝夫・置田真樹子

◆ 技量別ダブルス大会優勝者記録

第1回 (62.10.11 於青葉山)

Aクラス 長谷川信夫・山内 宏
 Bクラス 志間弘治・遠藤一博
 Cクラス 金子利幸・河野浩子

第2回 (63.10.16 於青葉山)

Aクラス 中村克宏・中島 佑
 Bクラス 斎藤昭男・五島健雄
 Cクラス 吉沢幸雄・剣持勝衛

第3回 (元.10.10 於青葉山)

Aクラス 三塚浩四郎・小野寺紘一郎
 Bクラス 棚橋美恵子・村上 実
 Cクラス 岩月賢一・武田満雄

第4回 (2.9.30 於青葉山)

Aクラス 村上 実・中島 佑
 Bクラス 不成立
 Cクラス 五島健雄・吉沢幸雄

第5回 (3.11.4 於泉コート)

Aクラス 大賀延行・村上 実
 Bクラス 松村 久・五島健雄
 Cクラス 細谷和子・三瓶 章

第6回 (4.10.11 於泉コート)

Aクラス 矢野伸二・村上 実
 Bクラス 有賀吟生・有賀昌子
 Cクラス 加藤丈夫・鈴木 実

第7回 (5.10.11 於泉コート)

Aクラス 有賀吟生・中島 佑
 Bクラス 本間満雄・山本 忠
 Cクラス 佐藤洋子・安藤伸子
 Dクラス 鈴木秀子・水戸てい子

◆ 混合ダブルス大会優勝者記録

第1回 (61.8.24 於青葉山)

Aクラス 中村克宏・志賀ちとせ
 Bクラス 支倉征一郎・支倉成子
 Cクラス 酒井秀章・酒井倭子

第2回 (62.8.23 於青葉山)

Aクラス 不成立
 Bクラス 武田満雄・渋谷陽子
 Cクラス 大賀延行・大賀安子

第3回 (63.8.28 於青葉山)

Aクラス 酒井秀章・酒井倭子
 Bクラス 佐々木満博・池田章子
 Cクラス 佐藤幸紀・佐藤耀子

第4回 (元.11.12 於宮城野原)

Aクラス 近 晴雄・和田美代子
 Bクラス 上山 弘・首藤紀子
 Cクラス 工藤和夫・増田恵子

第5回 (2.8.26 於青葉山)

Aクラス 松村理治・松村 久
 Bクラス 小野寺嘉郎・安藤伸子
 Cクラス 福田承生・福田ミネ子

第6回 (3.8.25 於泉コート)

Aクラス 小野寺嘉郎・松村 久
 Bクラス 有賀吟生・有賀昌子
 Cクラス 武田満雄・石橋りつ子

第7回 (4.8.23 於泉コート)

Aクラス 井沢秀雄・和田美代子
 Bクラス 三浦 翼・三浦美和子
 Cクラス 岩井隆太郎・加藤りつ子

①Dクラス 伊藤成子
 ②石橋りつ子

第8回 (5.10.17 於泉コート)	
Aクラス	阿部喜則・玉置雪枝
Bクラス	桜沢富男・桜沢美恵子
Cクラス	丸山 潔・今野ミチ
第9回 (6.10.16 於泉コート)	
Aクラス	館内規之・玉置雪枝
Bクラス	野島昭敏・棚橋美恵子
Cクラス	北島 宏・北島さと
第10回 (6.7.23 於泉コート)	
Aクラス	中村克宏・酒井倭子
Bクラス	深田興平・深田満寿子
Cクラス	小野泰祐・石垣晴子
Dクラス	室賀 創・櫻井ノリエ

◆ 対女子テニス連盟定期戦記録

第1回 (6.1.11.16 於東部5号公園コート)	
○ 壮年 26-10 女子連	

第2回 (62.9.20 於青葉山)	
○ 壮年 41-13 女子連	
第3回 (63.9.15 於青葉山)	
雨天中止	
第4回 (元.11.3 於青葉山)	
壮年 15-23 女子連 ○	
第5回 (2.11.11 於青葉山)	
○ 壮年 16-12 女子連	
第6回 (3.10.27 於青葉山)	
雨天中止	
第7回 (4.11.1 於青葉山)	
壮年 4-11 女子連 ○	
第8回 (5.11.7 於青葉山)	
○ 壮年 29-25 女子連	
第9回 (6.11.6 於泉コート)	
壮年 27-27 女子連 ○	
第10回 (7.11.5 於泉コート)	
○ 壮年 31-23 女子連	

◆ 全国健康福祉祭(ねんりんピック)参加者

第1回 (兵庫県・神戸) 63.10.30~11.2	
監督	森谷勇一郎
女子60才以上	菊田絢子・奥井紀美子 庄司勝子
男子60才以上	浅野正次・小野泰祐
男子65才以上	新藤英雄・川上秀之・上山 弘

第2回 (大分県・別府) 元.11.3~11.5	
宮城県監督	山内 宏
宮城県選手	女子60才以上 高嶋ハルエ・奥井紀美子 男子60才以上 加藤文治・佐藤栄治 男子65才以上 鈴木東行・小関精彦・守田 忠
仙台市監督	久保寿一
仙台市選手	女子60才以上 菊田絢子・庄司勝子 男子60才以上 室賀 創・久保寿一 男子65才以上 岩月賢一・花淵武雄 瀬野尾 秩・武田満雄

第3回 (滋賀県・大津) 2.9.29~10.4	
宮城県監督	西条 伝
宮城県選手	女子60才以上 奥井紀美子・櫻井ノリエ 男子60才以上 西条 伝・神松伊三郎 男子65才以上 多久堯夫・原田景次・高橋儀蔵
仙台市監督	伊藤一利
仙台市選手	女子60才以上 菊田絢子・今野ミチ 男子60才以上 中村克宏・平井正光 男子65才以上 伊藤一利・川上秀之・星 猛夫

第4回 (岩手県・安比) 3.9.21~9.24	
宮城県監督	小関精彦
宮城県選手	女子60才以上 菊田絢子・今野ミチ 男子60才以上 上山 弘・小関精彦 男子65才以上 新藤英雄・武田満雄
仙台市監督	山本 忠
仙台市選手	女子60才以上 庄司勝子・櫻井ノリエ 男子60才以上 山本 忠・小野泰祐 男子65才以上 久保寿一・室賀 創

第5回(山梨県・甲府) 4.10.31~11.3

宮城県監督 本間満雄
 宮城県選手
 女子60才以上 奥井紀美子・櫻井ノリエ
 男子60才以上 本間満雄・平井正光
 男子65才以上 川上秀之・多久堯夫・岡田克巳
 仙台市監督 中村克宏
 仙台市選手
 女子60才以上 伊藤久子・今野ミチ
 男子60才以上 中村克宏・神松伊三郎
 男子65才以上 伊藤一利・丸山 潔
 岩月賢一・花淵武雄

第6回(京都府・京都) 5.10.2~10.4

宮城県監督 新藤英雄
 宮城県選手
 女子60才以上 鈴木うた子・伊藤久子
 男子60才以上 阪田正雄・武田満雄
 男子65才以上 加藤文二・千葉鴻二
 仙台市監督
 仙台市選手
 女子60才以上 高橋哲子・武田義子
 男子60才以上 小野泰祐・鈴木儀一郎
 男子65才以上 久保寿一・星 猛雄

第7回(香川県・小豆島) 6.10.21~10.23

宮城県 不参加
 仙台市監督 伊藤一利
 仙台市選手
 女子60才以上 石垣晴子・櫻井ノリエ・今野ミチ
 男子60才以上 川口温弘・中村克宏
 男子65才以上 室賀 創・川上秀之

第8回(島根県・大社) 7.10.21~10.23

宮城県監督 加藤文二
 宮城県選手
 女子60才以上 奥井紀美子・櫻井ノリエ
 男子60才以上 加藤文二・米竹祐一郎
 男子65才以上 鈴木昭悟・角田 満
 仙台市監督 新藤英雄
 仙台市選手
 女子60才以上 坂爪みや・高橋明子
 男子60才以上 本間満雄・村上 実
 男子65才以上 久保寿一・小野泰祐



◆ 年輪不足のねんりんピック ◆

角田 満

知人が開業したバブレストラン「テニスクラブ」(数年前すでに閉店)で、開店祝いの抽選でもらった、安物のラケットを使って10数年前遊び半分でテニスを始めました。学生時代を通して野球をやっていたので足腰には多少の自信はあったのですが、「テニス」は思っていたよりもずっと「ハード」でした。

以来同好の仲間に入れてもらったり、スクールに通ったりして、余り切れ目なくテニスを続けてきましたが正式のゲームはおろか何かの大会に出るという事も今までにはありませんでした。

それが、昨年壮年テニス連盟に入れていただいたことか転機のような気がしているのですが、今年ヒヨんな事から(ある先輩に誘われ、出場申込までしていただいて)県のマスターズ大会に出ました。そしてその結果思いもかけぬ「ねんりんピック」の県代表の大役が私にまわって参りました。

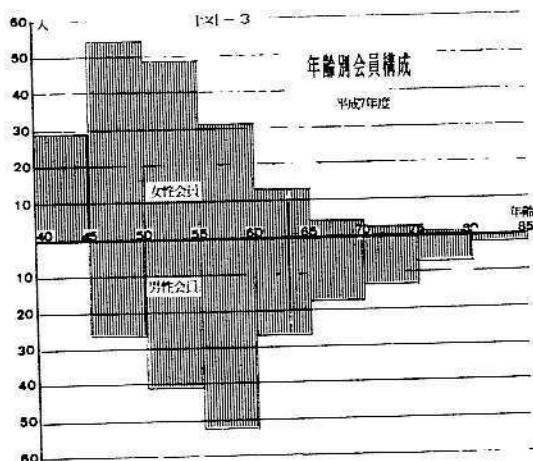
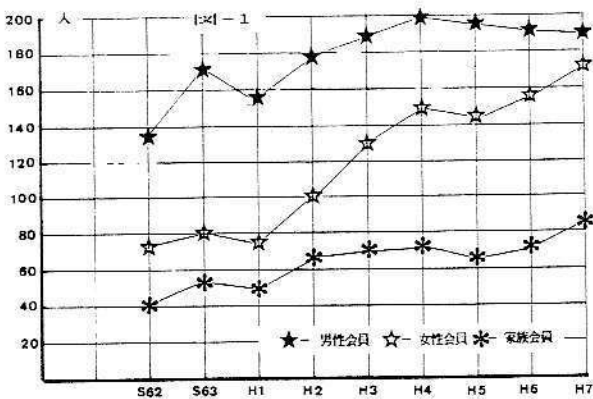
自分では想像もしなかったねんりんピックの選手になるなんて「夢みたい」なのです。だってその大会でもロクに勝っていなかったのですから、私にオハチがまわって来たのが不思議なのです。しかし、何かの間違いにしても、選ばれたからには胸を張って島根県に行ってくるつもりです。何せねんりんピックはオリンピック以上に「参加することに意義がある」と思いますし、会場がかねてから行ってみたいと思っていた山陰の、それもラフカディオ・ハーンがこよなく愛した地だからということもありますので、役不足ながら結果を気にせずに、と思っております。

☆お知らせ☆

故菊田絢子さんのご遺族様より
 当テニス連盟にご寄付を戴きました。心より感謝申し上げます。ご意志をついで有効に使わせていただきたいと思います。

【 会員数の推移 】

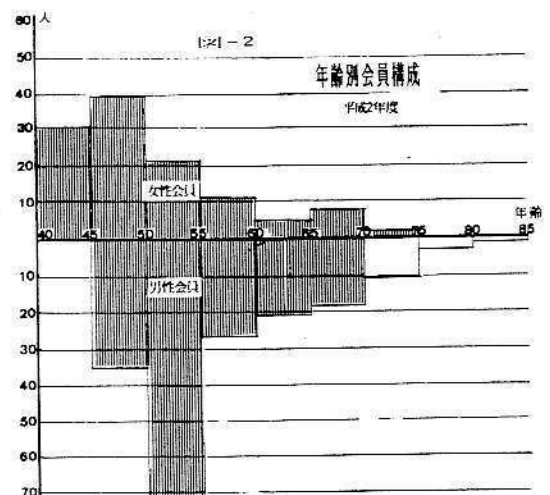
会員諸氏のご努力とご協力により、当連盟は昭和61年4月の約60名の出席者による連盟結成大会から10周年目を迎え、現在会員総数370名という大きな団体に成長いたしました。図-1 は男性会員、女性会員および家族会員別の会員数の推移を年度別に示しております。この図からも明らかなように、女性会員数の増加率が著しく大きく、男女の比率が昭和62年度では1.0 : 0.48 であったものが、今年度ではほぼ同率となり、女性会員数が男性会員数を越えるのは間も無くのことと推察されます。男性会員数は200人を最大数としてその前後を維持するよう思われますが、女性会員数については、増加の傾向は窺えたとしても、近い将来の人数の推定は困難のようです。家族会員数は、70組くらいの横這い状態から若干の上向き傾向にあり、ご夫妻でテニスを楽しむ方々が増えつつあることは喜ばしいものと思われます。



【 年齢別会員構成 】

図-2, 図-3 は、平成2年度 および 平成7年度の年齢別会員構成を示したものです。全体の会員数の増加と男女数の比率の変化については前図と同様に明白ですが、この二つの図では、会員の高齢化がはっきりと読み取れるように思われます。男性会員数については、平成2年度において50~54歳までの会員がとび抜けて多かったものが、5年後では55~59歳の会員数が最も多くなっております。女性会員においては、平成2年度において45~49歳の会員数が特に多かったものが、平成7年度には50~54歳の会員数とほぼ同数になっております。これは、5年前の会員の皆さんが5歳としをとったからという単純な理由もさることながら、将来、当連盟の会員の年齢構成が男女ともに60歳(女子は65歳?)をピークとするなだらかな逆円錐型構成になるという推測が出来ることを示しているようにも思われます。

会員数の増加と会員の高齢化を現実のものとしてとらえ、十年の歴史を踏まえて、長寿社会の中の当連盟の在り方を皆さんとともに考えてみましょう。



宮 城 県 壮 年 テ ニ ス 連 盟

会 員 名 簿

氏 名

青 興 一
青 美 智 子
青 武 雄 子
相 沢 あ い 子
会 津 茂 光 稔 子
相 原 阿 城 子
相 原 阿 城 夫 子
浅 野 茂 美 子
浅 野 惠 隆 郎 治 子
浅 野 部 助 喜 多 子
阿 部 部 喜 彦 人 子
阿 部 部 喜 彦 美 惠 子
安 荒 井 井 功 喜 健 子
荒 井 井 井 政 純 子
荒 井 井 井 直 哉 子
荒 井 井 川 貞 子
有 賀 賀 吟 生 子
有 賀 賀 昌 生 子
粟 野 敦 子
粟 野 藤 謙 四 郎 子
安 飯 野 克 子
飯 野 沢 秀 子
飯 井 沢 三 幸 子
石 垣 垣 夫 美 雄 子
石 塚 猶 子
石 龜 希 男 子
石 龜 希 聡 美 子
石 川 幸 子
石 川 幸 子
石 戸 谷 実 子
石 橋 り 子
石 泉 田 三 起 子
伊 勢 文 夫 一 子
板 橋 完 郁 子
伊 東 清 志 子
伊 藤 は 子
伊 藤 利 子
伊 藤 久 子
伊 藤 敏 子
伊 藤 秀 子
伊 藤 秀 子

氏	名
鎌	夫子明弘
鎌	幹靜智
神	啓 ^史 之
上	温弘
河	温子
河	広治
菅	義志 ^津 喜
菅	新格
菊	地夫
菊	地一
北	野子
北	妙宏
木	下威
北	鳥と
北	鳥一
金	野子
久	保季
久	保清
熊	倉俊
倉	栗栖
栗	栗栖
里	羽 ^美 子
刺	持勝
刺	持啓
野	近勝
河	野子
河	野子
神	松三郎
五	鳥健
小	関精
小	田鳥政
小	田鳥 ^代 子
後	藤敦
後	藤清
後	藤子
後	藤弘
後	藤一
後	藤子
後	藤義
五	藤重
小	林卓
小	林と
小	林 ^美 子
小	原浩
小	松郎
小	松 ^太 郎

氏	名
近	雄子
今	美子
野	千子
野	男子
齋	巳子
齋	仁子
齋	枝子
齋	セイ子
齋	正子
酒	章子
酒	雄子
坂	ヤ治
桜	エ一
佐	一毅
佐	さだ子
佐	宏昭
佐	文勝
佐	義子
佐	つや子
佐	優子
笹	麗子
佐	勝子
佐	夫枝
佐	巳子
佐	すい紀
佐	幸子
佐	千代子
佐	洋子
佐	助行子
柴	登子
柴	賢蔵子
洪	猛子
洪	子子
洪	治子
志	治子
鳴	子子
鳴	子子
島	子子
水	千惠子
清	千紀子
首	則勝
庄	則勝
庄	良子
上	操子

氏 名

太郎丸	幸	浩子
太郎丸	鴻	二子
千葉	法	道男
千葉	正	不二
千鉢	不	満
中角	田	佳代子
東海	林	清子
富樫	田	文三郎
外山	沢	担仁子
長沢	光	樹子
中島	美	佑子
中島	幸	造衛
中田	舜	弘宏
中館	勝	治洋
中名	生	村谷
中村	谷	祐綾
中南	谷	正純
南沼	田	昭敏
根野	島	昭夫
野島	賀	武雄
芳賀	川	幸子
長谷	淵	坂
花早	坂	田
早林	飯	千加子
飯日	高	徹登
日日	高	佑正
平井	井	郁哲
平田	渡	達承
樋深	田	ミ静
福福	田	芳
藤布	施	三枝子
布留	川	夫
星細	谷	良和
細本	野	日出
本本	間	満和
本本	間	子

宮城県壮年テニス連盟創立10周年記念行事

実行委員

上山 弘	村上 和夫	瀬野尾 秩	新藤 英雄
菅野 義治	本間 満雄	山内 宏	石亀 希男
酒井 倭子	渋谷 陽子	高橋 龍夫	伊藤 一利
山本 忠	中村 克宏	和田 武士	川口 温弘
大賀 延行	千葉 鴻二	坂爪 ミヤ	菅野 志津子
武田 満雄	玉置 雪枝		
高橋 明子	日野 佑子		

編集後記

“まだ違ったことのない人なんです
その人にもしかしたら
けふ逢えるかと尋ねて
歩いているのです”

「誰かをさがすために」
室生犀星

いろいろな方にお会いするのは、楽しみなものです。どなたにもそれぞれに魅力があって、それを感じたとき心がときめくものです。

テニスの同好のよしみで集まった壮年テニス連盟の仲間350余名は、どんな方々がいらっしゃるのでしょうか。葉書の小さなスペースに寄せられたメッセージは、短いながら、それぞれのお人柄が感じられ親近感を覚えました。切手集めでアフリカの子どもを救っている**さん。皆さんご協力よろしくお願ひします。10周年感無量の創立者の方々。プレーしている姿そのままの漫画**さん。海外からも

私もいるぞと**さん。ご主人と生涯一緒にテニスを楽しんでいく幸せをのろける？**さん。(悔しい～) 病床から漫画で目を楽しませてくれた**さん。早くよくなってテニスしましょう。等々・・・。

会報担当者一同、愛情を込めて編集に携わりました。そしてここも素敵な方々の集まりです。



編集委員

千葉 鴻二
日野 佑子

新藤 英雄
高橋 明子

本間 満雄